



企業が取手市でNPO緑の会の河川浄化活動に参加しました

9月9日（金）、デニスジャパン（株）の社長はじめ社員の皆さん120名の方々が茨城県取手市のNPO緑の会（恒川敏江理事長）のEMによる河川浄化活動の実地研修に参加した。

デニスジャパン（株）は東京都千代田区に本社を置く外資系企業で、CSR（社会貢献活動）に熱心に取り組む会社でもある。2年前には富士山の清掃も行っている。

この研修は、午前10時から取手市福祉交流センターでのパワーポイントによるNPO緑の会の活動とEMの概要について、福留一徳副理事長の説明で始まった。次に参加者全員が取手市の生ゴミ堆肥化事業所に移動し、EMダンゴ作りに挑戦することになった。緑の会の皆さんが事前にダンゴ作りの準備をしたので、参加者の皆さんは、混ぜ合わせてあったダンゴ材料（土・活性液・燻炭・ボカシ・セラミック）でダンゴを一人5～6個の割合で1カゴ35個入りを20カゴ・700個作った。今の季節なら10日で発酵するから、少し熟成させれば河川浄化剤として使える。

次の実地研修は、この事業所に隣接する相野谷川へのEMダンゴの投入だ。この川は緑の会の皆さんが定期的にEM活性液やダンゴを投入しているの、ボラの大群が遡上したり元気な魚たちが水面をはねたりして、生態系が豊かになりつつある川だ。

この川に架かる橋から120名の皆さんが、一人5～6個ずつ計700個を一斉投入し、ダンゴで川面は勢いよくはね続け、壮観であった。これにより川底や水質が良くなり、より生態系が豊かになることだろう。

東京都千代田区にあるデニスジャパン（株）の皆さんが、同じ千代田区を流れる日本橋川の浄化活動に定期的に参加して頂ければ、日本橋川と河口の東京湾の環境改善に大きく寄与することになるだろう。



デニスジャパン（株）一行CSRに参加の皆さん、取手市生ごみ堆肥化事業所で



相野谷川にEMダンゴを投げ入れる参加者の皆さん

1人5個ずつ作ったEMダンゴ